

第54回国立大学法人奈良女子大学経営協議会要録

日 時 平成29年6月26日（月）午前9時30分～午前11時30分
場 所 第一会議室（事務局管理棟3階）
出席者 今岡学長，角田理事，小路田理事，藤原理事，井深理事，
井岡委員，尾池委員，牧田委員，松本委員，山川委員
欠席者 山口委員
列席者 酒居監事，福田監事，岩阪事務局次長／総務・企画課長，太田情報管理活用監，
桑原国際課長，乾研究協力課長，西田財務課長，西施設企画課長，
中窪学生生活課長，名賀入試課長，矢野学術情報課長，
川村総務・企画課課長補佐，荒堀総務・企画課総務係長
議 長 今岡学長

議事に先立ち，

- (1) 学長から，今年度第1回目の開催にあたっての挨拶の後，新任及び任期が更新された委員の紹介。続いて井深理事から，列席課長のうち新任者の紹介。
- (2) 第53回経営協議会（平成29年3月17日開催）記録を確認。
- (3) 報告事項8.の意見聴取に副学長（国際交流担当）が列席予定であることを説明。

審議事項

1. 平成28年度決算について

井深理事から，資料1-1～1-5により，平成28年度決算（案）について説明があった。また，学長から補足説明があり，審議の結果，原案のとおり承認し，役員会へ付議することとした。

2. 平成28事業年度に係る業務の実績報告書について

小路田理事から，資料2による説明の後，6月末の提出期日に向けての作業において，今後軽微な文言修正があれば学長に一任することとして承認願いたいとの発言があり，審議の結果，これを承認し，役員会へ付議することとした。

3. 役員の平成29年6月期に支給する勤勉手当の勤務成績評価について

学長から，平成29年6月期に支給する役員の勤勉手当の勤務成績評価について，資料3及び平成27年度に係る業務の実績に関する評価結果等により説明があった。審議の結果，標準である「勤務成績が良好な役員 87.5/100」の区分を適用することとした。

4. 学長選考会議委員の選出について

学長から，資料4-1及び4-2により，経営協議会選出の湯山委員が平成29年3

月31日付けで退任されたため、欠員となっている経営協議会において選出される学外委員1名を選出したいとの発言があり、審議の結果、松本委員を選出した。なお、任期は経営協議会委員としての任期と同一である平成29年4月1日から1年間であることを確認した。

5. その他

特になし。

報告事項

1. 平成30年度国立大学法人運営費交付金概算要求について

井深理事から、資料5により説明があり、今後詳細は文部科学省との折衝の上、戦略的に要求するとの報告があった。なお、要求順位は学長に一任して決定するとの説明があった。

2. 平成30年度施設整備費補助金等概算要求事項について

井深理事から、資料6により説明があり、今後緊急性や昨年度評価等により文部科学省に要求するとの報告があった。なお、要求順位は学長に一任して決定するとの説明があった。さらに今年度予算配分される概算要求事項として、ライフライン再生、大学院F棟トイレ改修を予定しているとの説明があった。

3. 国立大学法人及び大学共同利用機関法人の第2期中期目標期間評価について

小路田理事から、資料7-1により本学の評価結果について説明があり、教育研究等の質の向上の状況については「おおむね良好」3項目、業務運営・財務内容等の状況の評価については「非常に優れている」1項目、「良好」3項目となった旨、報告があった。続いて、資料7-2により他大学も含めた評価結果の概要について説明があった。

4. なでしこ基金について

井深理事から、資料8-1及び8-2により、なでしこ基金の受入状況及び使用状況について報告があった。

5. 学内諸規程の制定等について

学長より、資料9により、前回経営協議会後に制定済の規程等について報告があった。

6. 国立大学法人を取り巻く最近の動向について

学長から、資料10-1により6月14日に開催された国大協通常総会、資料10-2により6月15日に開催された学長・機構長会議の審議概要等についての報告と、国立大学を取り巻く状況についての情報提供があった。

7. 本学の現状等について

学長及び各担当理事から、次の事項について報告があった。

- (1) 平成29年度入学者選抜状況：資料11-1
- (2) 平成28年度卒業・修了者の進路状況：資料11-2
- (3) 科学研究費補助金採択件数等の推移：資料11-3
- (4) 女性活躍推進法に基づく奈良女子大学行動計画の改定について：資料11-4
- (5) 女性職員比率の現状：資料11-5
- (6) ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ公募申請について：資料11-6
- (7) 卓越大学院構想及び研究拠点構想について：資料11-7
- (8) キャンパスマスタープラン2017の策定について：資料11-8
- (9) 新聞報道について：資料11-9

なお、資料11-2については、昨年度の山川委員からの意見を受け、公務員への就職状況を細分化し、また奈良県内での就職状況が分かる資料を追加した旨、説明があった。

8. 第3期中期計画遂行上の課題について

学長から吉村副学長（国際交流担当）について紹介の後、吉村副学長から、資料12により本学の国際交流状況の現状及びグローバル化の推進にあたっての課題について説明があり、意見を頂きたいとの依頼があった。

尾池委員から、本学が中期計画で「大和紀伊半島地域」をハブとした構想を掲げていることから、アジアを中心とした留学生の受入れの現状でも差し支えないのではないかと、との発言があった。これについて、吉村副学長から、本学の日本人学生の多くがアジア地域よりも欧米地域への交換留学を希望しており、このニーズに応えるためにも欧米の交流協定校を増加させ、これらの地域から本学に留学する学生を増加させたいとの説明があった。

続いて小路田理事から、オランダや東ヨーロッパの国々では日本について勉強したい意識があるので、双方向的な動きを作ってはどうかと考えているとの説明があった。

一方、尾池委員から、欧米にのみ目を向けるのではなく、むしろ中国からの留学生や市場について目を向ける時期ではないかとの提案があった。特に近年、中国からは「古き良き時代の中国」を求めて来日する流れがあり、さらに唐・宋の時代に日本の文化の中心であった奈良に位置する大学として、中期目標や年度計画、中国語圏に対する地域貢献活動において、中国との関係性を推し出す戦略を検討すると良いのではないかと、との意見があった。さらに、日本文化や奈良に位置する大学の特長を活かした戦略により、中国からの寄附活動も十分期待できる時機であるため、それらを視点に入れた取り組みも検討すると良いのではないかと、との意見があった。

9. その他

特になし。

以上